



草太郎は、裕福な実業家で俳句の宗匠でもあった道山壮山を祖父に持ち、大変恵まれた家系に生まれました。しかし、その半生は幾多の苦難におそわれ、決して平たんなものではありませんでした。

本展では、どんな時も高く生き切った草太郎の生涯を俳句作品とともに紹介しています。



2022年11月3日(木)祝～12月25日(日)

※東京市立国史のほくろ館 文化会館の裏  
 ※開館時間 / 土：09～17:30 休：土日祝祭日  
 ※入館料 / 無料  
 ※全館貸 / 11/09～11/16 11/22～11/29 12/04～12/11 12/18～12/25

明治30年(1897)-昭和47年(1972)  
 本名、茂兵衛。戦後の須賀川俳壇の興隆に尽力しました。

# 風流のはじめ館

2022  
 第13号  
 11月号

<https://s-furyu.jp/>



## 写真



草太郎にとって植物への愛と関心は終生尽きることがなかった。採集した標本の数は700枚以上に及ぶ。

小鳥来るや思ひはるけきうろこ雲  
 春近し星の名問はれつつ歩む  
 どの道をゆきても雪のさびしさよ  
 星空の紺うつるなる深雪かな  
 くりさいてあめのひ可伸忌とやせん  
 牡丹のちりはつる夜もなつかしき  
 俳諧にこの町古し等躬忌  
 秋風や一盞の酒にひびきあり  
 逃水を追うてゆく手や花さかり  
 人に灯ありて月光よりさびし

## 俳句

草木と人間の心が  
 相通じようとするのは  
 尊い詩を生む心と少しも  
 変わりはないだろう  
 (昭和14年 雑草記断想より)

## ことば

目に見えないものを、おそるることほど、うつくしい心はまたとあるまい。目に見えないものを、うやまうことほど、うつくしい心はまたとあるまい。  
 (昭和28年 桔槔1月号より)

## 草太郎五十年忌に寄せて

### ギャラリートーク



草太郎の孫の道山はるか氏が草太郎の思い出と多彩な交友関係、その作品について語りました。時にユーモアを交えた語り口からは、亡き草太郎の姿が立ち昇ってくるようでした。

11/13(日)



テーマ展 地域の伝統工芸

# 江戸小紋を伝えるそのわざ



ワークショップ

「染色し型紙で染める江戸小紋」

10/13(木)



協力/染工房「形幸」

100年以上「江戸小紋」を染める須賀川の染工房

かつては生糸、絹、布と  
いったものは暮らしの中心にあり、何  
十軒の染物業が、清流を求め釈迦堂川  
のあちこちで染物を水洗いする様子が  
日常風景としてありました。

蚕を育て、絹を作り、美しい染物を作  
られるのは、豊かな自然に囲まれ、絹  
文化があったまちゆえのことだったの  
でしょう。次第に、着物が日常着では  
なくなり洋装へと移り変わっていく中  
で、染色業も次第に勢いをなくしてい  
きました。そのわざと精神は今も須  
賀川に息づいています。

「匠のわざ」は、全ての作  
業工程が職人の手によって  
丁寧に行われ、それはいざ  
れも気が遠くなるほど細か  
く時間がかかるものである  
ことに驚き、参加者は器用  
に型紙で染め上げ、地域の  
文化を体験しました。



集中力と緻密さ、そして伝心



10/10(月)

月夜のむかしばなし

こども和文化塾

## 語りべ：すかがわ昔話の会

秋灯りの中で昔話に聞き入りました。昔話は人として大切なことを私たちに伝え続けています。これからも日本の心を伝えたい。そんな願いをこめて語っていただきました。



10/1(土)  
15(土)

すかがわ大人塾

てくてく俳句

講師：江藤文子氏  
秋晴の2日間、俳句がまったくはじめての方と少しだけ俳句を知っている方が一緒に楽しく吟行をしました。



10/22(土)

カジュアル着物のすすめ

東北一敷居が低いきものお話し

講師：宮崎亜矢氏  
カジュアル着物の楽しみ方、具体的なコーディネートなど、着物を気軽に日常へ取り入れるきっかけ作りのお話をさせていただきました。

**俳句募集**

俳句ポスト  
募集期間 通年  
選句会 年2回  
部門 一般の部  
子どもの部  
学校の部

市内21カ所にポストを設置しています。詳しくは当館までお問い合わせください。

須賀川の俳祖・相楽等  
躬の忌日である十一月  
十九日を「等躬忌」と称  
し、等躬を偲んでゆか  
りの地を清掃し菩提寺  
のお参りをしました。



## 等躬忌の集い

とうきゅうぎ

皇室の紋にも使われている日本を象徴する花です。  
山中や菊はたおらぬ湯の句  
芭蕉



皇室の紋にも使われている日本を象徴する花です。山中や菊はたおらぬ湯の句 芭蕉

## 神帰月

かみかえりつき

十一月の異称。出雲大社(島根県)に集まった神々が帰ってくる月。

## 紗綾形

さやがた

正(まじ) 卍(な) 文(ふ) の 一 種。端正な卍(な) 文(ふ) の 一 種。端(は) に ゆ(が) め た 形。菱(り) 万(ま) 字(じ) と も い い ます。着(き) 物(ぶ) や 唐(から) 紙(し) 、 神(かみ) 社(や) 建(た) 築(く) の 装(ま) 飾(じ) と し て も 用(もち) い ら れ て います。

言(こと) の 葉(は)